

アレチウリの具体的な駆除方法について

アレチウリの生態や影響については既存文献や後述するリンク先など多々情報がありますので、ここでは具体的に目の前のアレチウリをどうやって処理したらよいかについて参考に記述します。

1. 駆除の前に

まず、アレチウリは特定外来生物に指定され、処理や運搬が制限されています。そのため、抜いたり刈ったりしたアレチウリは、**基本的に枯死するまでその場から運び出してはいけません**。刈ったものを運搬すると、拡散を助長することになりかねません。

2. 駆除方法

アレチウリは根やつるが存在する限り生き続けます。よって、つるを手で引きちぎったり、鎌などで刈り込んだとしても、残った部分で結実し、増殖し続けます。

そのためアレチウリを駆除するためにどうすればいいかという点、「**人の手で1本ずつつるを根元までたどって、根元から引き抜く**」という作業が必須になります。

あたり一面を埋め尽くすアレチウリを引きちぎったり、鎌で刈り取るような駆除方法は、効果が無いわけではありませんが、抜本的解決にはなっていません。

地道な作業ですが、「手で1本1本引き抜く」事が駆除の近道です。ご理解のうえ、以下を参考にアレチウリの駆除の一助としてください。



まずアレチウリを1本見つけます。
必ず根を引き抜く必要があるため、必然的に1本ずつの作業になります。



ある程度目視でつるをたどっていきます。写真は1本のみなので簡単ですが、大量繁茂している場合は難しいです。



つるを引きはがし、根元に向かって手でつるをたどっていきます(ちぎらないように)
多数のアレチウリがからまっている場合、この作業が非常に厄介で手間がかかります。



更につるをたどっていきます。
アレチウリのつるは、先端が太くても根元近くに行くに従って細くなるので、力の加減を間違えると、すぐにちぎれてしまいます。



ついに根元を確認できました。
更につるが細くなるので、不用意に引
っ張ってちぎれると、これまでの苦勞が
水の泡です。



地面の生え際をつるをしっかりとつか
み、注意しながら引き抜きます。アレチ
ウリの根は比較的抜きやすく、丁寧に
根元から引き抜けば大抵簡単に抜け
ます。



引き抜いた状態です。根もついた状
態で抜くことができれば大成功です。



引き抜いたアレチウリは、そのままその場においておきます。(天日にさらすと30分程度ですぐに枯死します)



このように茂った状態のアレチウリに対しても、1本1本たどりながら引き抜いていく必要があります。手や鎌で強引に引きちぎる処理は、その場しのごにはなりますが、あまり効果がありません。